



統計調査部国勢統計課課長補佐

西 千奈美



Chinami Nishi ・ 平成3年度入省

平成3年4月 総務庁採用
統計センター管理部情報処理課
プログラム第3係
平成9年1月 統計局統計調査部消費統計課
物価指数第1係
平成11年4月 統計センター管理部情報処理課
統計専門職
平成12年4月 統計センター管理部統計情報官
厚生労働省大臣官房統計情報部
企画課審査解析室
平成14年4月 産業連関表第一係長
平成16年4月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室
審査発表第二係長
平成19年4月 統計局統計調査部消費統計課
物価統計室物価指数第一係長
平成22年10月 統計局統計調査部消費統計課
物価統計室統計専門官
平成23年10月 政策統括官(統計基準担当)付
統計審査官付
ストック統計調整専門官
平成25年10月 現職

■あなたにとって仕事とは

「日々勉強」です。世の中の動きは早いので、アンテナを張って情報収集し、仕事に必要なことは常に自分なりに勉強が必要です。それによって今の仕事だけでなく、その後の仕事やプライベートにまで役立つ視野が広がります。

■やりがいを感じた瞬間とは

自分が担当した統計の記事が、新聞などで大きく取り上げられたときです。統計調査の集計データに対する世間の関心が高く、行政施策に与える影響も大きいいため、重要な仕事に携わっていることを実感します。

■求める人物像

希望する仕事や得意な仕事をしていても、事が順調に運ぶことばかりではありません。そのような時、違う視点から物事を考えられる柔軟性や、何事も前向きに取り組む姿勢が大切だと思います。

北海道企業局工業用水道課長

村井 隆一



Ryuichi Murai ・ 平成6年度入省

平成6年4月 自治省採用
行政局振興課
平成8年4月 島根県総務部地方課
平成10年4月 消防庁総務課
平成12年4月 財政局地方債課特別債係長
平成13年1月 総務省自治財政局財政課
管理審査専門官付予算係長
平成14年4月 公営企業課公営企業経営企画室
水道・工業用水道事業係長
平成17年4月 自治行政局市町村課
住民台帳第一係長
平成19年4月 消防庁総務課総務係長
平成21年4月 自治財政局交付税課主幹
平成22年4月 自治行政局選挙部政治資金課
支出情報開示室主幹
平成23年4月 自治財政局公営企業課主幹
平成24年4月 現職

■あなたにとって仕事とは

子供達が住みやすい世の中にしたい！現在は鉄鋼・石油・エネルギー産業等に工業用水を安定供給することにより住民生活を支える仕事をしていますが、今後も仕事を通じて少しでも世の中に貢献できればと思います。

■やりがいを感じた瞬間とは

以前、情報開示を制限する住民基本台帳法の改正に携わりました。毎年、すべての部署で法令改正がある訳ではないのですが、住民の安全・安心に大きな影響を与える仕事ができ、責任とやりがいを感じました。

■志望者へのメッセージ

このような世の中を作りたい！という熱意と、人の意見を聞ける素直な人を求めます。自らを向上させることのできる仕事と、地方自治の現場経験を積んだ先輩が皆さんを待っています。

総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課課長補佐

市川 憲史



Norifumi Ichikawa ・ 平成7年度入省

平成7年4月 郵政省採用
大臣官房人事部能力開発課
平成7年7月 大臣官房総務課審議室
平成9年7月 電気通信局総務課
平成10年3月 大臣官房人事部人材開発課
平成11年3月 電気通信局電気通信事業部業務課
平成12年7月 電気通信局電波部電波環境課
平成13年1月 総務省総合通信基盤局
電波部電波環境課
平成14年8月 総合通信基盤局電波部移動通信課
第二業務係長
平成16年4月 総合通信基盤局総務課電波審議係長
平成17年4月 総合通信基盤局国際部国際協力課
情報通信支援係長
平成18年5月 外務省在ミャンマー日本国大使館
二等書記官
平成21年7月 総務省大臣官房秘書課人事第三係長
平成24年8月 現職

■あなたにとって仕事とは

「社会との接点」であると考えています。

日々の仕事が社会に影響を与え、社会の出来事が日々の仕事に影響を及ぼすといった相互関係が、仕事の面白さ・やりがいにも結びついているのではないかと思います。

■求める人物像

何事にも面白みを見いだせる方が良いのではないのでしょうか。

一職員の担当分野は非常に狭い場合もあります。その社会の縮図でもあるミクロスペースにどれだけ愛着を持つことができ、面白みを見いだせるかが重要です。

■志望者へのメッセージ

私が国家公務員になってからの期間は、いわゆる「失われた20年」と重なっています。そろそろ、いい加減、時代の潮目が変わっても良い頃ではないのでしょうか。日本の活力を取り戻すべく、共に働く仲間を求めます。